



令和9年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年8月7日

上場会社名 SRSホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8163 URL <https://srsholdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 政彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略本部長 (氏名) 夏井 克典 TEL 06-7222-3101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績（令和8年4月1日～令和8年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	19,028	6.5	267	△53.7	229	△58.9	147	△46.6
8年3月期第1四半期	17,874	18.6	577	△7.0	558	△2.3	275	△16.9

(注) 包括利益 9年3月期第1四半期 260百万円 (1.3%) 8年3月期第1四半期 256百万円 (△40.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	3.56	3.20
8年3月期第1四半期	6.66	5.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
9年3月期第1四半期	45,349	18,287	39.0
8年3月期	47,145	18,441	37.8

(参考) 自己資本 9年3月期第1四半期 17,675百万円 8年3月期 17,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
9年3月期	—	—	—	—	—
9年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和9年3月期の連結業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	83,000	8.6	3,200	4.9	3,000	0.2	1,800	6.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	9年3月期1Q	41,470,184株	8年3月期	41,470,184株
② 期末自己株式数	9年3月期1Q	115,558株	8年3月期	116,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	9年3月期1Q	41,354,501株	8年3月期1Q	41,351,168株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	令和8年3月期第1四半期			令和9年3月期第1四半期		
	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	17,874	2,802	18.6%	19,028	1,154	6.5%
営業利益	577	△43	△7.0%	267	△310	△53.7%
経常利益	558	△13	△2.3%	229	△328	△58.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	275	△56	△16.9%	147	△128	△46.6%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しておりますが、円安の進行や、不安定な国際情勢の影響、地政学的リスクの高まりに加え、長引く物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。外食産業におきましては、実質賃金がプラスに持ち直しているものの実質的な個人消費の伸びが鈍いことに加え、訪日外国人旅行者数が前年比でマイナスに転じるなど消費意欲の動向には引き続き注視が必要な状況にあります。また、原材料価格の上昇に加え、物流費・建築費・人件費の増加などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、令和8年3月期を初年度とする5カ年の中期経営計画「SRS VISION 2030」に掲げた重点戦略を、2年目となる本年度も引き続き推進してまいりました。

本中期経営計画では、「既存事業の飛躍的な発展と新たな収益基盤の確立による和食チェーングループ圧倒的No. 1の実現」を基本方針とし、「“和食さと”のナショナルブランド化」、「”にぎり長次郎””うまい鮎勘”を中心としたグルメ寿司チェーン圧倒的No. 1の実現」、「第3、第4の収益の柱となる事業の確立」、「売上高1,000億円超を支えるグループ機能の強化とサステナブル経営の推進」の4つの重点戦略を掲げております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、各重点戦略の実現に向け、既存店の競争力強化及び新規出店を推進するとともに、本年度は客数を最重要指標と位置付け、各事業において商品力及びサービス品質の向上をはじめとする各種施策に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上面では、M&A及び出店による増収効果はあったものの、既存店については、特に6月における梅雨前線の停滞や相次ぐ台風の接近により、週末を中心に降雨や荒天の日が多くなったことなどから来店客数が伸び悩み、売上高は計画を下回る水準となりました。その結果、原材料費及び人件費等のコスト増加を十分に吸収することができず、営業利益は前年同期を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益についても、営業利益の減少により前年同期を下回りました。

主要な業態ごとの具体的な取り組みや概況については、次のとおりです。

(和食さと)

和食さと業態では、「“和食さと”のナショナルブランド化」の実現に向けて、令和8年5月に、広島県に初出店となる「広島観音新町店（広島県広島市）」をオープンいたしました。お子様限定でソフトクリームをプレゼントする等の「ゴールドデンウィーク限定キャンペーン」や、和食さと全店で「202店舗目オープン記念キャンペーン」を開催するなど、「食事を通じた団らん」の充実を推進しました。商品施策としては、食べ放題の期間限定コースとして「天然めばちまぐろ食べ放題」、「初夏の北海道食べ放題」などの高付加価値商品を販売し売上高拡大につなげました。また、令和8年3月より営業時間延長（186店舗24時閉店）の認知が進んだこともあり、売上高は6,980百万円（前年同期比103.1%）となりました。

(にぎり長次郎)

にぎり長次郎業態では、商品施策として旬のネタを使った「長次郎と巡る 春のひとさら<第2弾>」「初夏の結い寿司」「初夏メニュー<第1弾><第2弾>」等のフェアを実施しました。こどもの日、母の日、父の日にあわせたキャンペーンを開催したほか、「寝屋川本店（大阪府寝屋川市）」をオープンして以来、今年で25周年を迎えることから「25周年記念キャンペーン」を開催しました。令和8年5月には、従来店舗比で約2倍に大型化した「いけす」や、上下2段の「特急レーン」を備えた新型店舗2号店「長浜店（滋賀県長浜市）」をオープンしました。以上の結果、売上高は3,704百万円（前年同期比104.8%）となりました。

(家族亭)

家族亭業態では、商品施策として令和8年4月に北陸フェア「～美味しいは幸せ～ 北陸からのおくりもの」、5月に「真穴子フェア」、6月に信州フェア「しあわせの薫り～発酵文化～ 信州からのおくりもの」を開催し、旬の食材や各産地の個性的な食材のおいしさを訴求しました。令和8年6月には「茨木店（大阪府茨木市）」をリニューアルオープンしました。以上の結果、売上高は1,342百万円（前年同期比97.1%）となりました。

(アミノ寿司業態)

うまい鰯勘業態では、商品施策として令和8年4月に「うまいの春」、5月に「初夏の彩(いろどり)」と題したフェアを開催し、春から夏にかけて旬のネタを期間限定で販売しました。前期に宮城県大崎市、新商圏である群馬県前橋市にオープンした新店2店舗も売上に寄与しました。以上の結果、売上高は1,739百万円（前年同期比107.5%）となりました。

当社グループは、外食産業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績に関する記載を省略しております。

〔当社グループ 業態別店舗数〕

		前連結会計 年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半 期連結会計 期間末	当連結 会計年度 出店計画
レストラン店舗数（国内）		614 (70)	3 (－)	1 (－)	616 (70)	40
和食ファミレス	和食さと	201 (－)	1 (－)	－ (－)	202 (－)	5
グルメ寿司	にぎり長次郎・CHOJIRO	73 (－)	1 (－)	－ (－)	74 (－)	5
	アミノ寿司業態（※1）	33 (－)	－ (－)	－ (－)	33 (－)	3
	回転すし北海道・すし弁慶	6 (－)	－ (－)	－ (－)	6 (－)	1
そば・うどん	家族亭（※2）	59 (7)	－ (－)	1 (－)	58 (7)	2
	得得・とくとく	59 (43)	－ (－)	－ (－)	59 (43)	5
丼・定食・ その他	かつや	52 (18)	1 (－)	－ (－)	53 (18)	8
	天井・天ぶら本舗 さん天	35 (1)	－ (－)	－ (－)	35 (1)	2
	定食屋 宮本むなし	24 (－)	－ (－)	－ (－)	24 (－)	－
	からやま	12 (－)	－ (－)	－ (－)	12 (－)	2
	玉子焼・お出汁ひまわり	8 (－)	－ (－)	－ (－)	8 (－)	2
	ビフテキ牛ノ福（レストラン）	5 (－)	－ (－)	－ (－)	5 (－)	－
	M&S FC事業（※3）	35 (1)	－ (－)	－ (－)	35 (1)	5
	その他	12 (－)	－ (－)	－ (－)	12 (－)	－
レストラン店舗数（海外）		23 (23)	4 (4)	1 (1)	26 (26)	－
海外	海外店舗	23 (23)	4 (4)	1 (1)	26 (26)	－
中食店舗数		143 (131)	2 (2)	3 (3)	142 (130)	33
中食	鶏笑	131 (130)	2 (2)	3 (3)	130 (129)	30
	宅配寿司業態	9 (1)	－ (－)	－ (－)	9 (1)	－
	ビフテキ牛ノ福（中食）	3 (－)	－ (－)	－ (－)	3 (－)	3
グループ 店舗数	グループ計	780 (224)	9 (6)	5 (4)	784 (226)	73
	グループ計（直営のみ）	556 (－)	3 (－)	1 (－)	558 (－)	40

（ ）内はFC・のれん分け及び合弁事業店舗数

※1. 「アミノ寿司業態」には、「うまい鰯勘」「うまい鰯勘ゆとろぎ」「うまい鰯勘別館 鮎正」「銀座鮎正」「回転すし まるくに」「北海三陸炭火焼 まるかん」業態を含んでおります。

※2. 「家族亭」業態には「花旬庵」「三宝庵」「家族庵」「蕎旬」「蕎菜」業態を含んでおります。

※3. 「M&S FC事業」は、M&Sフードサービス株式会社が運営する「ポポラマーマ」「ミスタードーナツ」「ドトールコーヒー」「大釜屋」「しんぱち食堂」業態の合計店舗数です。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、45,349百万円（前連結会計年度末比1,796百万円の減少）となりました。

流動資産は、16,933百万円（前連結会計年度末比2,385百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少2,015百万円、売掛金の減少353百万円などであります。

固定資産は、28,338百万円（前連結会計年度末比596百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産のその他（純額）の増加331百万円、建物（純額）の増加261百万円などであります。

流動負債は、11,156百万円（前連結会計年度末比903百万円の減少）となりました。これは主に、未払法人税等の減少546百万円、未払金の増加441百万円、買掛金の減少410百万円などであります。

固定負債は、15,905百万円（前連結会計年度末比738百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少437百万円、役員退職慰労引当金の減少200百万円、社債の減少100百万円などであります。

純資産は、18,287百万円（前連結会計年度末比153百万円の減少）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和9年3月期の連結業績予想につきましては、令和8年5月15日に公表いたしました決算短信に記載の連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,287,030	11,271,718
売掛金	3,460,740	3,107,137
商品	53,258	46,928
原材料及び貯蔵品	1,503,120	1,435,269
1年内回収予定の長期貸付金	69,292	68,348
その他	946,349	1,005,054
貸倒引当金	△429	△479
流動資産合計	19,319,362	16,933,976
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,438,881	5,700,024
土地	3,438,760	3,438,760
その他（純額）	3,457,595	3,789,134
有形固定資産合計	12,335,237	12,927,919
無形固定資産		
のれん	5,387,205	5,267,737
商標権	2,440,243	2,390,797
その他	309,788	418,475
無形固定資産合計	8,137,237	8,077,009
投資その他の資産		
投資有価証券	900,569	1,077,281
長期貸付金	607,068	590,280
差入保証金	4,369,558	4,364,187
繰延税金資産	746,753	657,150
その他	654,913	653,659
貸倒引当金	△8,996	△8,747
投資その他の資産合計	7,269,867	7,333,812
固定資産合計	27,742,342	28,338,741
繰延資産	83,918	76,770
資産合計	47,145,623	45,349,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,348,377	1,938,335
1年内償還予定の社債	1,147,500	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	1,867,683	1,844,058
未払金	3,418,677	3,860,519
未払法人税等	652,310	105,770
賞与引当金	606,641	390,954
店舗閉鎖損失引当金	1,575	—
その他	2,017,615	1,967,101
流動負債合計	12,060,380	11,156,740
固定負債		
社債	7,683,750	7,583,750
長期借入金	5,513,111	5,075,907
再評価に係る繰延税金負債	85,305	85,305
繰延税金負債	119,419	112,463
役員退職慰労引当金	228,203	27,753
役員株式給付引当金	68,590	72,000
退職給付に係る負債	196,835	201,642
資産除去債務	1,509,554	1,518,631
その他	1,239,082	1,227,851
固定負債合計	16,643,852	15,905,304
負債合計	28,704,232	27,062,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,077,683	11,077,683
資本剰余金	4,482,172	4,482,172
利益剰余金	2,706,295	2,438,782
自己株式	△116,715	△116,212
株主資本合計	18,149,436	17,882,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485,695	606,796
繰延ヘッジ損益	120,548	112,883
土地再評価差額金	△926,256	△926,256
為替換算調整勘定	9,583	—
その他の包括利益累計額合計	△310,428	△206,575
新株予約権	3,986	3,986
非支配株主持分	598,396	607,607
純資産合計	18,441,390	18,287,443
負債純資産合計	47,145,623	45,349,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	17,874,130	19,028,829
売上原価	6,105,453	6,433,652
売上総利益	11,768,676	12,595,177
販売費及び一般管理費	11,190,802	12,327,910
営業利益	577,873	267,266
営業外収益		
受取利息	1,625	1,800
受取配当金	18,334	12,000
受取家賃	11,756	11,231
為替差益	—	3,794
雑収入	20,872	27,623
営業外収益合計	52,589	56,449
営業外費用		
支払利息	38,696	43,506
不動産賃貸費用	7,622	6,771
為替差損	986	—
雑損失	24,428	43,675
営業外費用合計	71,734	93,953
経常利益	558,728	229,763
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	—	14,029
特別利益合計	—	14,029
特別損失		
固定資産除却損	3,976	5,829
賃貸借契約解約損	612	—
特別損失合計	4,589	5,829
税金等調整前四半期純利益	554,139	237,964
法人税、住民税及び事業税	162,985	46,613
法人税等調整額	92,466	34,955
法人税等合計	255,452	81,568
四半期純利益	298,686	156,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,206	9,210
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,480	147,184

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	298,686	156,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,251	121,100
繰延ヘッジ損益	△28,976	△7,664
為替換算調整勘定	△462	△9,583
その他の包括利益合計	△41,691	103,852
四半期包括利益	256,995	260,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,789	251,037
非支配株主に係る四半期包括利益	23,206	9,210

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日）

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和7年5月20日 取締役会	普通株式	311,023	7.50	令和7年3月31日	令和7年6月27日	利益剰余金

(注) 令和7年5月20日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金890千円が含まれております。

2 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和8年5月19日 取締役会	普通株式	414,697	10.00	令和8年3月31日	令和8年6月26日	利益剰余金

(注) 令和8年5月19日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金1,156千円が含まれております。

2 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	501,065千円	542,397千円
のれんの償却額	111,580千円	119,467千円

（重要な後発事象）

当社は、令和8年8月7日開催の取締役会において、株式会社FOOD & LIFE COMPANIESの連結子会社である株式会社京樽の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式会社FOOD & LIFE COMPANIESとの間で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 株式取得の目的

当社グループは、中期経営計画”SRS VISION 2030”のもと、心を満たす和食を日本中へ届けることを目指し、多様な和食事業を展開しております。その重点戦略の1つとして、「グルメ寿司チェーン圧倒的No.1の実現」を掲げ、グルメ寿司市場での全国的な事業基盤の強化・拡大に取り組んでおります。

そのような中、株式会社京樽が営む「回転寿司みさき」などの外食事業および「京樽」などのテイクアウト事業が当社グループに加わることで、重点戦略であるグルメ寿司事業の強化・拡大に寄与するとともに、全国展開において課題であった首都圏における店舗網の拡充が実現できると判断いたしました。

「回転寿司みさき」は、赤シャリと豊洲市場の旬のネタなどを使用した江戸前の味を提供するグルメ寿司ブランドであり、当社グループが展開する「にぎり長次郎」「うまい鮎勘」などのグルメ寿司ブランドとの間で、商品開発、共同購買、寿司職人育成をはじめとする幅広い分野でのシナジー創出が期待されます。また、「回転寿司みさき」は駅近や商業施設への出店を得意としており、ロードサイドを中心に展開する当社グループの既存ブランドと出店立地が重複しないことから、更なる事業拡大が見込まれます。

また、テイクアウト寿司「京樽」は、高い知名度と長い歴史に裏付けられたブランド力を有しており、当社グループが外食事業で培ってきた商品開発力と過去のM&Aを通じて蓄積した経営ノウハウとの融合により、ブランド価値の向上と中食分野における事業基盤の拡大が期待されます。

さらに、同社が有する製造工場については、寿司事業に加え、「和食さと」をはじめとする当社グループの和食事業向け製品の製造拠点として機能を拡充し、グループ全体の企業価値向上を目指します。

以上のことから、本件は当社グループの事業ポートフォリオを強化・拡充し、企業価値の向上に資するものと判断し、同社の株式を取得することといたしました。

2. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株（議決権所有割合：0%）
(2)	取得株式数	202株
(3)	取得価額	株式会社京樽の普通株式 3,745百万円 アドバイザリー費用等（概算額） 45百万円 合計（概算額） 3,790百万円
(4)	異動後の所有株式数	202株（議決権所有割合：100.0%）

※令和8年8月7日時点の株式会社京樽の発行済株式数は201株ですが、株式会社京樽は株式会社FOOD & LIFE COMPANIESを割当先とする第三者割当増資を予定しており、株式取得時の発行済株式数は202株となる見込みです。

3. 日程

(1)	取締役会決議日	令和8年8月7日
(2)	契約締結日	令和8年8月7日
(3)	株式譲渡実行日	令和8年9月1日（予定）

4. 今後の見通し

本株式取得に伴う令和9年3月期の当社連結業績に与える影響は現在精査中であり、今後、業績予想の修正が生じた場合には、速やかに開示いたします。